

アカマツ林・コナラ林の里山の維持管理

広域に広がるアカマツ林、コナラ林での試行事業（案）

アカマツ林・コナラ林の維持管理の基本の方針

自然景観の骨格をなすアカマツ林とコナラ林は、本事業地でも荒廃が問題となっています。兵庫県では平成6年度より、里山の景観や生物多様性の保全などを目指した里山林整備・再生事業が進められ、本事業地でも4箇所が整備され活用されています。宝塚市大原野においてはより規模の大きいCSR事業が進められています。また、県立有馬富士公園では住民による自主企画により、多くの里山保全活動が行われています。そこでこれらの場所を拠点と位置づけ、各地点と団体との連携を図り、里山の景観、生物多様性の保全、維持を目指します。

A. 4つの里山林再生事業地

4事業地での維持管理の継続と利活用メニューの充実による参画者の拡大

B. CSR事業地

整備が進められているCSR事業地での利活用と他事業地との連携

C. 有馬富士公園

里山保全活動を行う住民グループとの連携

A. 4つの里山林再生事業地 【地元との連携】



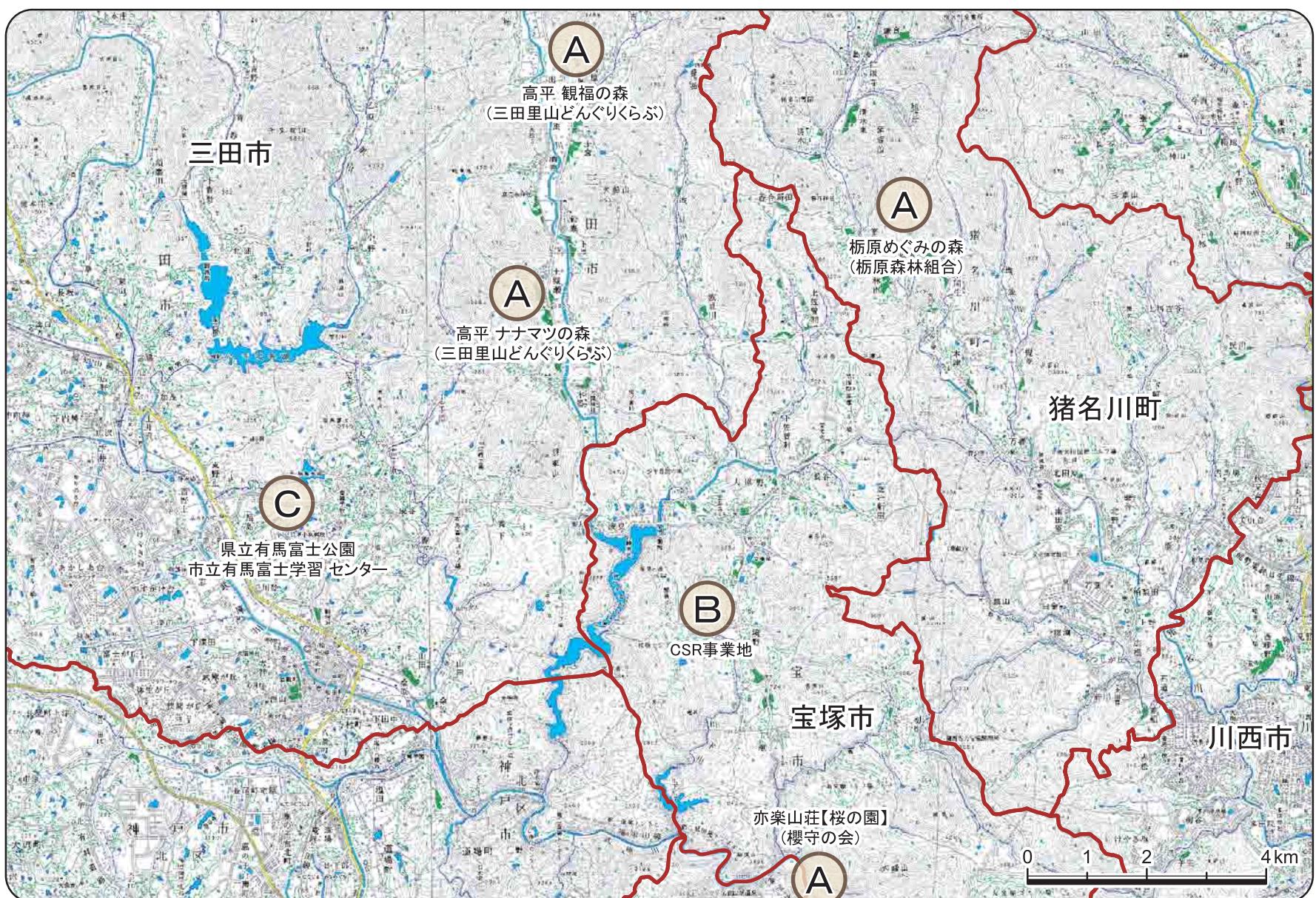
4箇所の里山林再生事業地では森林ボランティアなどにより維持管理が進められており、地元の方との連携、協働が図られています。活動の活性化を図り、地元とのさらなる連携、整備面積の拡大を目指します。

活動主体：三田どんぐりくらぶ、櫻守の会、柄原森林組合など
活動内容：里山林再生事業地での森林整備、利活用など

協力：地元の方々、土地所有者など

課題：地元の方々の利活用の拡大するためのメニュー出しや仕掛け作りなど

景観と生物多様性の保全と維持



B. CSR事業地 【里地里山保全の啓発と環境学習】



現在整備が進められている宝塚市大原野のCSR事業地は、里山保全の活動拠点となると考えられます。この場を活用し、里地里山における生物、生態系保全の重要性や実際の保全活動などを学習、体験ができる場を目指します。

活動主体：地元の方々、森林ボランティアなど

活動内容：公園内における薪炭林景観の再生のための見本林整備の推進および体験・学習イベントの開催

課題：現在整備が進行中であり、関連機関と連携を図り、利活用計画を策定する必要がある。

C. 有馬富士公園 【ボランティアの育成と活動メニュー】



公園では、ここに生息・生育する生物などあらゆる資源を活用し、住民が自主企画プログラムを利用者に提供するという仕組みを展開しています。その中には里山プログラムも生まれ、公園の里地里山保全再生を一部担っています。

活動主体：有馬富士公園管理事務所、有馬富士公園運営・計画協議会
活動内容：公園の管理事務所に住民とのパートナーシップを担当するセクションを設けることで、公園での住民グループ活動を支援するシステムを構築

課題：各場所、各団体との連携の形態などを検討していく必要がある。